

来週、北京へ息子と4泊5日で行って来ることにした。日本の旅行社による団体旅行だ。

特筆すべきはその値段の安さ。飛行機は日本の航空会社、4泊するホテルは北京の中心で有名な繁華街に位置する老舗の5つ星クラスの一流ホテル、北京ダックを含む全食事付、万里の長城など有名な観光地全部。これで、幾らと思いませんか、驚くなかれ、なんと25,000円だ。北京には行きたいが、個人的に行けば最低でも10万円はかかる。安いからこのツアーに参加するのだ。

旅行社は誰でも知っている日本の有名な旅行社、この旅行社の企画ツアーは国内外で何度となく参加しているので毎月、分厚いカタログを送ってくる。12月号を見る、25,000円だと京都一泊、食事なしで将にその値段だ。つまり京都一泊メシなしと同値段で、北京一流ホテル4泊、メシ観光つきなのだ。

外国なのでまた飛行機を利用するので、燃油サーチャージと空港利用の税金が別途12,500円ほどかかるが、これは旅行社も税金として実費を払うので、ともかく旅行社の収入は25,000円である。

この25,000円をどう分けるのだろうか。航空会社もタダではないだろう。ホテルも在職中には、一般社員では恐れ多くて泊まれない程の一流だ。おそらく個人的に行けば1泊最低でも12,000円は取られる。4泊すればそれだけで50,000円だ。メシだってタダではない。要は成立しないのだ。

安さの秘密は、全行程参加が条件なのだ。観光とショッピングには必ず参加しなくてはならない。ここで、旅慣れしていない人は、高価な土産を買うことになる。私は中国の団体旅行は、日本からも、中国国内からも何度となく参加したが、申し訳ないが旅行社の連れて行く店で、買ったことはない。私は中国滞在経験が長く、およその値段は分かる。旅行社の連れて行く店は、極めて高い。また、ガイドや店の店員の説明は芸術的に上手い。「ここでなければ買えない。このチャンスは逃すべきではない。」と催眠商法並みだ。悪いけど私ならば他で1/5か1/10で買える。良く見ていると我が同胞は平均して大体10万円くらい買う。ここでの利益でツアーの安さは相殺される。人の商売を邪魔するほど野暮ではない。「金がなくて買えない。」と言ってソファーに座って他の人が買うのを黙って見ている。ツアーの仲間は思うかもしれない。折角、中国まで来てこんなに良い店に連れてきてもらっているのに、何も買わないケチなヤツがいると。

ところで私は腰痛持ちだ。何回もギックリ腰をやり、今では腰にコルセットを巻いている。ある時など自宅から20mほど、ゴミ出しに行き歩けなくなり、携帯で息子呼び出して肩につかまって家に戻った。最近コルセットの御蔭で調子が良い。

なんだか予感がする。北京に行くと腰痛が出そうだ。いやきつと出る。腰が痛くて歩けない。ホテルで休むしかない。まさか、車椅子や担架で無理に観光に連れ出さないだろう。人権問題だ。父親の苦痛を無視して自分だけ観光に行くような薄情な息子ではない。必ず看病のため残ってくれる。かくして我々はホテルに残り、ツアーの仲間を見送る。

ツアーの仲間が出て行くと、不思議と腰痛は治りそうだ。その後はまさかメシの時だけ出て行くわけにも行かないから、メシも自分たちで食う。北京は良く知っているし、言葉には不自由しない。往復のチケットとホテルさえあればその方が腰痛持ちには良い。

この作戦は今回が初めてだ。もしツアーガイドが美人だと、腰痛は出ないかもしれない。まあなんとかなるだろう。